

エルサルバドル政治経済月報 (2023 年 9 月分)

2023 年 10 月
在エルサルバドル大使館

内政

1. 当国の例外措置体制に対する欧州議会の見方（主要各紙）

9 月 20 日、欧州対外行動局 (EEAS) の Bandini 副局長は欧州議会にて、エルサルバドルは例外措置体制（憲法で保障される権利の一時的制限: Regimen de Excepcion）により犯罪件数が激減していることから、当国政府に対して例外措置体制の撤廃を検討するよう述べるとともに、EU 議会の姿勢は基本的人権の尊重であるとした。

2. 当国への選挙監視団の派遣（米州機構（OAS））（エル・ムンド紙）

米州機構（OAS）は当国外務省に 2024 年に当国で実施される 4 つの選挙（注：大統領選挙及び国会議員選挙は 2 月 4 日実施、全国市長選挙及び中米議員選挙は 3 月 3 日実施）に選挙監視団を派遣する旨通知した。

3. 米シンクタンクによる例外措置体制の評価（エル・ディアリオ・デ・オイ紙）

ラ米諸国の組織犯罪の研究を専門とする米シンクタンク「InSight Crime」は、当国の例外措置体制に対する報告書を公表した。同報告書は、「MS-13」、「バリオ 18 レボルシオナリオス」及び「バリオ 18 スレーニョス」に所属するギャング集団は、未だ 54 の武装グループを形成しており、収監されていないギャング集団は少なくとも 4 万 3,000 人いるとした。この集団は、ギャング加入の儀式を通過したもの（ホームボーイ）、ギャング志願者で既に犯罪行為を実行したもの（チェケオ）やその協力者等から構成される。

4. ブケレ大統領の独立記念日スピーチ（9 月 15 日）（概要）

(1) 当国はアメリカ大陸で最も小さな国だが、常に偉大な国でありたいと望んできた。ここ数年に亘り、我々は偉大な国になるための基盤を築いてきた。今日、当国は中南米で最も安全な国となり、世界中から訪れる人々はその証人である。当国は僅か 4 年で、世界から十分なポテンシャルを有する国と認められた。

(2) ここ数年、当国はサーフィン世界大会の開催地となり、今年は中米カリブ競技大会が開催された他、11 月にはミス・ユニバース大会も控えている。こうした国際大会やコンテストの開催に合わせて都市のインフラを整備することは、海外からの訪問者のみならず、当国国民にとり有益である。

(3) 中国の援助により実施されている国立図書館の建設は直に終わる。同図書館は中南米で最も巨大、且つ近代的なものとなる。二日前には、カタールのタミーム首長が公式訪問し協議を実施した。同協議での成果は既に発表したが、更なる重要な成果は近日中に発表される。また、我々は米国を目指す不法移民数の減少に貢献しているのと同時に、米国在住の当国国民の過半数は本国への帰国を望んでいるとの研究も存在する。

(4) 大統領就任時、解決すべき問題は山積みだったものの、急を要したのが治安であった。当国は治安の保たれている国へと変化した。真の治安の改善には、我々が頭の中に持っている僅かな不安の念も払拭しなければならない。そこで独立記念日という特別な日に重要な知らせを 3 つ伝える。

(5) 1 つ目は犯罪地域コントロール計画 (PCT) のフェーズ 6「統合 (integracion)」の開始である。これまでの PCT は、大量の犯罪者を捕まえるといった直接的な手法で犯罪を減少させてきたが、今回のフェーズは、社会の更なる統合を進め、犯罪の根源を断つべく、政府のみならず、民間企業、大学、コミュニティ等も参加する。この新たなフェーズ「統合」を開始すべく、3,000 万ドルを割り当てるとともに、国家統合局 (Direccion Nacional de Integracion: DNI) を創設する。

(6)2 つ目は専門家育成機構(INSAFORP)(注:国民を専門家として育成するための独立行政法人、1996 年から運営)の存続である。これまで INSAFORP の廃止が議論されてきたものの、同機構の存続を決定した。INSAFORP が提供するサービスの質を高め、更なる専門家を輩出すべく、1,200 万ドルを割り当てる。(7)3 つ目は教育分野のデジタル化を拡充すべく、1,800 万ドルを割り当てる。我々はこれら政策に協力する民間企業、社会団体や国際機関を歓迎するとともに、多くの政府機関が同政策に納得することを確信している。

(8)このように当国は新たな国造りの道を歩んでいる。アメリカ大陸で最も小さな国が偉大な国となる道は困難を極めるだろうが、我々はそれを実行できるポテンシャルを持ち合わせている。そして今日、新たな国造りのために歩む国民の皆様と共に、独立記念日という特別な日を祝福する。

外交

1. タミーム・カタール首長の当国訪問（主要各紙）

(1)9月12日、カタールのタミーム首長を乗せた飛行機がエルサルバドル国際空港に到着し、当国のウジョア副大統領が同首長を出迎えた。なお、タミーム首長は昨日ガイアナへの公式訪問を終えた後に当国を訪問した。

(2)タミーム首長と当国のブケレ大統領は翌日、二国間アジェンダや両国の関係強化に係る協議を行う予定であり、同大統領は自身の SNS「X」(旧:Twitter)アカウントにおいて、タミーム首長の公式訪問を歓迎すると同時に、両国の良好な関係をさらに強化していく旨発信した。また、今回のタミーム首長の訪問の際には、カタールと当国の間で諸分野における協力協定や MOU が交わされる予定である。

2. ロペス最高裁判所長官の訪中と中国最高人民法院との MOU 署名（ディアリオ・エルサルバドル紙）

当国のロペス最高裁判所長官は中国を訪問し、中国最高人民法院の Zhang Jun 院長との間で、司法分野における意見交換及び協力関係に係る MOU を中国最高人民法院と交わした。

3. 全人代財政経済委員会代表団の当国訪問（エル・ムンド紙）

ウジョア副大統領は全人代財政経済委員会代表団の当国訪問を出迎えた。同代表団の Zhong Shan 首席はウジョア副大統領に対し、訪問中、当国の国会議員と会議をする予定であるとともに、同副大統領の訪中を歓迎するとした。

4. 第 78 回国連総会：ブケレ大統領の一般討論演説（9 月 19 日）（概要）

(1)大統領就任以降、私は国連総会の場を借りて幾度も我が国と似た状況に置かれている国々に自国の再考と再生を呼びかけてきた。我が国はそれらを実践している国であり、我が国のような発展途上国は常に偉大な国になる夢を見続けてきた。私が大統領に就任してから 4 年の月日が経ち、また独立から 202 年が経過した今、初めて我が国は誰からも干渉されることなく、偉大な国となるための一歩を歩むことができた。

(2)我が国は、僅かな期間で暴力が横行する国から中南米随一の安全な国に生まれ変わった。これは夢ではなく現実に起きていることであり、あなた方が実際に訪問し確認することもできる。特に中南米諸国や米国は、我が国で起きていることを注視しているのと同時に、自国でも同様のことが起きることを願っている。

(3)我が国が安全な国となった理由は自ら考えて行動したためである。何十年にも亘り我が国は国際社会からの助言に沿い行動した結果は、冷戦の代理戦争で 8 万 5,000 人以上が犠牲者となり、右派・左派の二大政党が内戦終結後から今まで政治を牛耳り、国民を蔑ろにするものだった。

(4)我が国が早急に解決しなければならない課題は治安であり、治安の改善なくして他分野の投資は考えられず、国際社会からは大きな批判を受けてきたものの、国民からの信頼の下、最高裁憲法法定判事

と検察長官を罷免する等、司法分野にメスを入れたことで結果を出してきた。我が国は世界で最も危険な国というスティグマから解放され、世界の手本となる安全な国へと生まれ変わったのである。

(5) 我が国はサーフィンの世界大会や中米カリブ競技大会を開催、米 Google 社と教育及び保健分野で協力することになった他、ミス・ユニバース大会の開催も控えており、内外から多くの観光客が訪問している。また、米国在住の当国国民の過半数は本国の帰国を望んでいる。

(6) 我が国は、最も危険な国から脱却し自ら考え行動するようになった国であり、他国の見本となるべく新たな道を歩んでいる。我々の道は困難を極めるだろうが、偉大な国になるべく歩み続けている。

5. ミラ外務副大臣とジェイコブスタイン米副国務次官補（西半球担当）の協議（外務省プレスリリース）

9 月 25 日、ミラ外務副大臣は、ジェイコブスタイン米副国務次官補（西半球担当）と両国の関心ある共通のテーマである、経済、協力、治安、移民について協議を行った。特に米国の支援で実施されている、当国国民の福祉と両国の利益に貢献し、また不法移民数の削減にも寄与する労働移住計画に関し、同次官補は当国が同計画の成果の見本となっている旨述べた。

経済

1. エルサルバドル国営建設の事業開始（ディアリオ・エルサルバドル紙）

8 月 30 日、エルサルバドル国営建設がサンサルバドル市内の繁華街 Zona Rosa 地区を通過するイポドロモ大通りの電線地中化工事をもって開業した。同工事はイルミネーション設備、関連電気機械、地中通信網のモダン化も含まれており、これら工事は 10 月末に竣工となる見込み。本工事には 7 百万ドルの資金が投じられ、現在は地中埋設管路の設置等の作業が行われている。エルサルバドル国営建設はエルサルバドル政府にとって始めての国有建設企業であり、今後は同社が政府や民間企業のインフラ工事や道路工事等を請け負うこととなる。現在までに既に 7 件の工事を受注済みであり、225 以上の直接雇用を創出している。

2. エルサルバドル中銀による 2023 年の経済成長率の見通し（エル・ムンド紙）

エルサルバドル中銀 (BCR) は、2023 年の当国の経済成長率の見通しがプラス 2.6%になる旨発表した。これは、国連ラテンアメリカ・カリブ海経済委員会 (ECLAC) の 2.1%、また IMF の 2.4%を上回る数値である。本年第 2 四半期の経済成長率においては、GDP を構成する 19 の経済活動セクターのうち 17 のセクターがプラス成長となり、中でも建設業は本年第 1 四半期の 5 億ドルに及ぶ公共投資によりプラス 22.8%を記録した。

3. 韓国・中米 FTA フォーラムの開催（主要各紙）

9 月 26 日、韓国・中米 FTA フォーラムが当国で開催され、韓国側からは大韓貿易投資振興公社 (KOTRA) の Che グアテマラ事務所代表、Choo 当地韓国大使、エルサルバドル側からはハスブン・エルサルバドル商工会議所 (CAMARASAL) 会頭、及び約 80 社の当地企業が出席した。

4. 観光業に対するスペインの銀行大手の見方（エル・ムンド紙）

9 月 27 日、スペインの銀行大手サンタンデール銀行は、当国の観光業に関するレポートを公表し、エルサルバドルの観光業は前例のない数値を記録し、また経済成長のカギになると分析した。サンタンデール銀行は、本年第 1 四半期における海外からエルサルバドルへの観光客が前年比プラス 30%を記録し、特に米国からの観光客が顕著であるとした。また同銀は、米国はエルサルバドルの潜在的な観光客であり、ビットコインによる観光のほか、地理的に近く、経済がドル化しているという点からも好都合である旨指摘した。

5. 2023 年第 1 四半期の対エルサルバドル直接投資額（エル・ムンド紙）

(1)エルサルバドル中銀(BCR)は、2023 年第 1 四半期における対エルサルバドル直接投資額が 2 億 6,264 万ドルを記録した旨発表した。なお、右直接投資額のうち、工業分野が全体の 56.7%(1 億 4,890 万ドル)、サービス分野は 44.1%(1 億 1,159 万ドル)を占めた。BCR の公表によれば、スペイン、メキシコ及び米国が、2023 年第 1 四半期の対エルサルバドルの直接投資額の 71%を占め、それぞれ 1 億 530 万ドル、9,410 万ドル、7,870 万ドルを記録した。

(2)BCR が公表した直近 5 年の対エルサルバドル直接投資額は以下のとおり。

ア 2023 年:2 億 6,264 万ドル

イ 2022 年:マイナス 2 億 8,381 万ドル

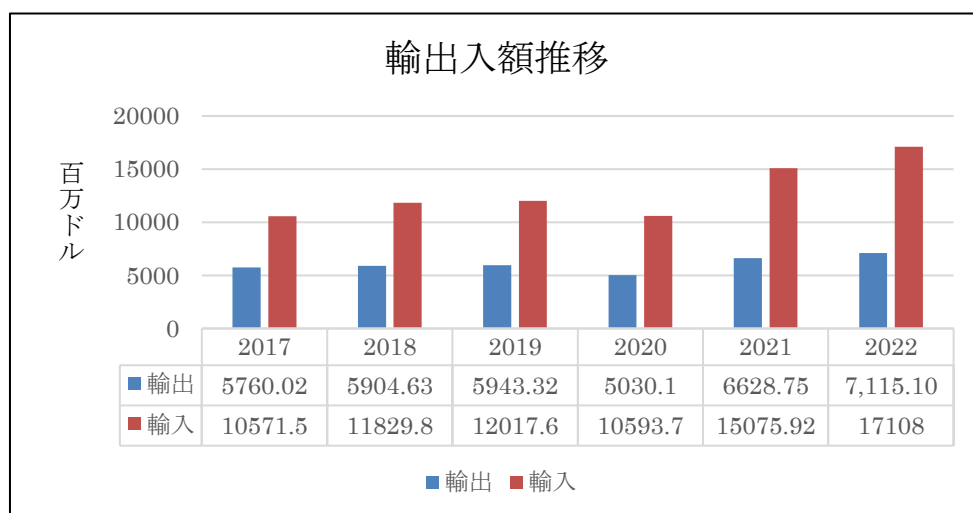
ウ 2021 年:4 億 1,389 万ドル

エ 2020 年:3 億 7,751 万ドル

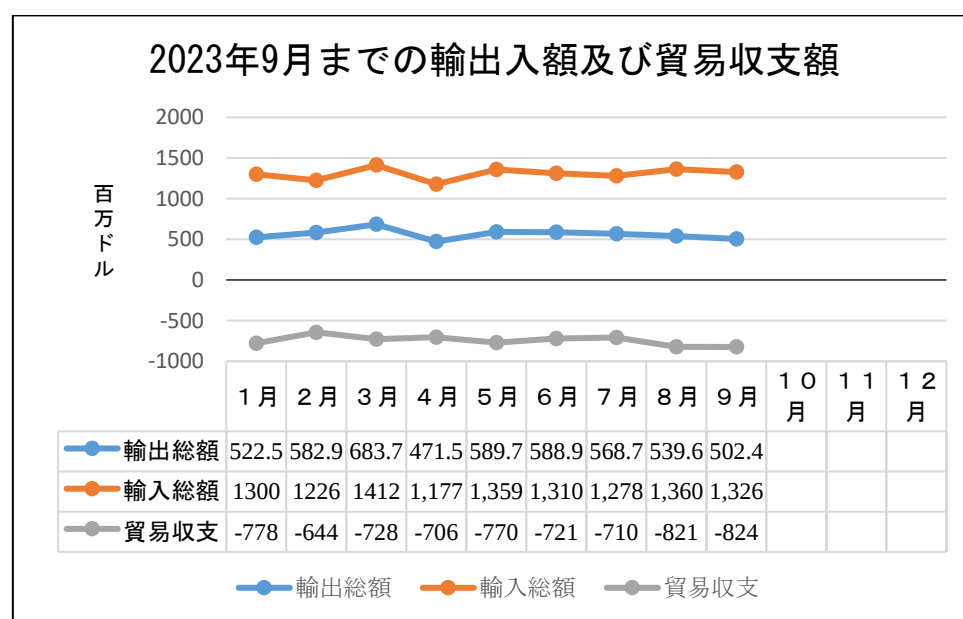
オ 2019 年:3 億 8,445 万ドル

6. 貿易総額

・2022 年の輸出総額は 71 億 1,115 万ドル（前年比 7.3%増）。輸入総額は 171 億 80 万ドル（前年比 13.5%増）となった。



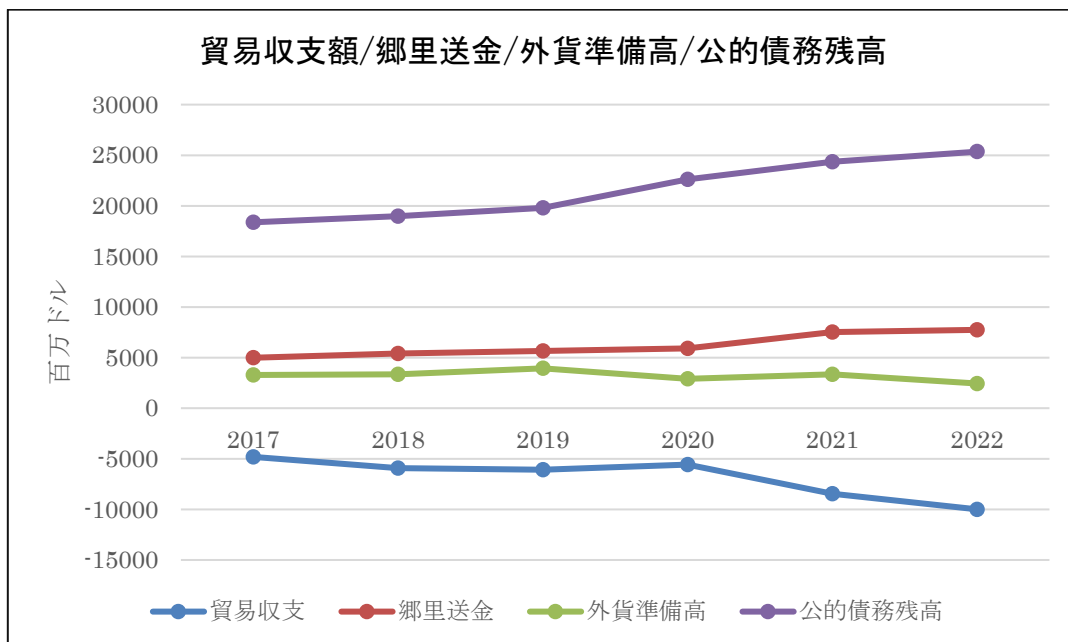
（エルサルバドル中銀データをもとに作成）



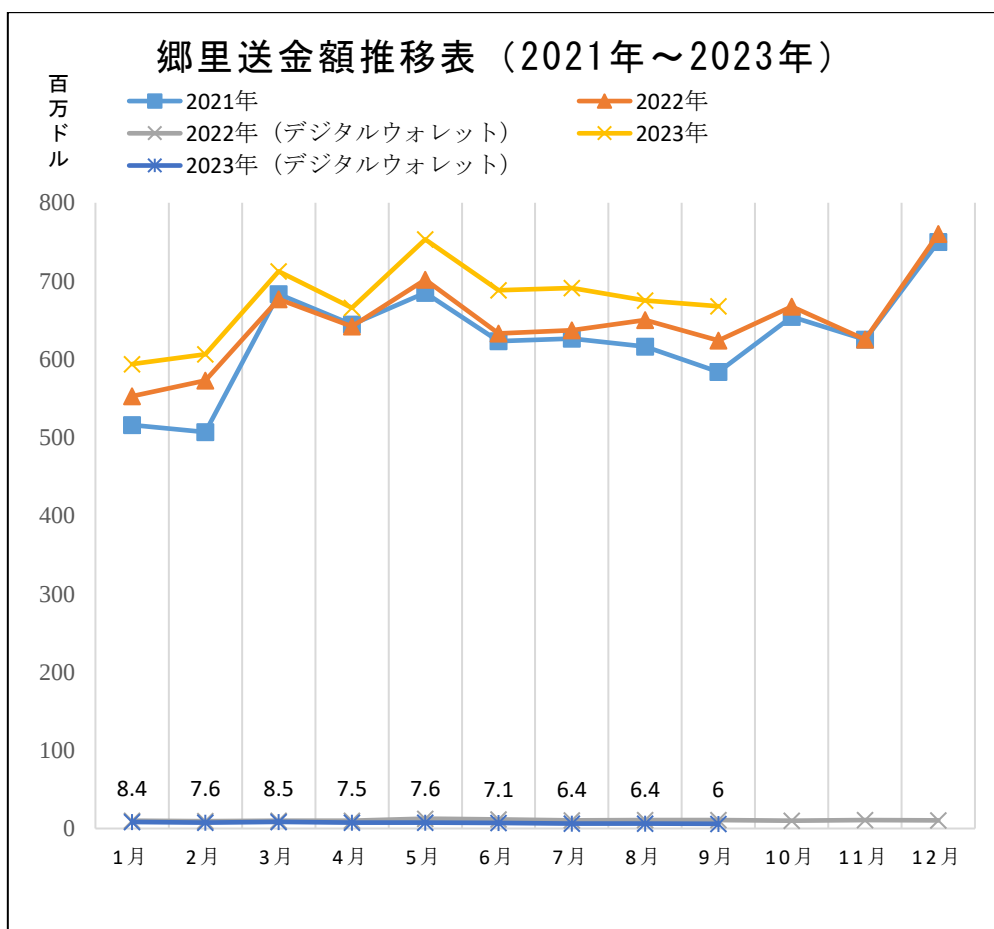
（エルサルバドル中銀データをもとに作成）

7. 貿易収支額・郷里送金・外貨準備高・公的債務残高

- ・ 2022 年の貿易収支額はマイナス 99 億 9,290 万ドルとなり、前年より赤字額が 17 億 7,040 万ドル拡大した。
- ・ 2022 年の郷里送金額は 77 億 4,200 万ドルとなった。そのうち米国からの送金は全体の 93.8% (72 億 6,570 万ドル) を占めた。



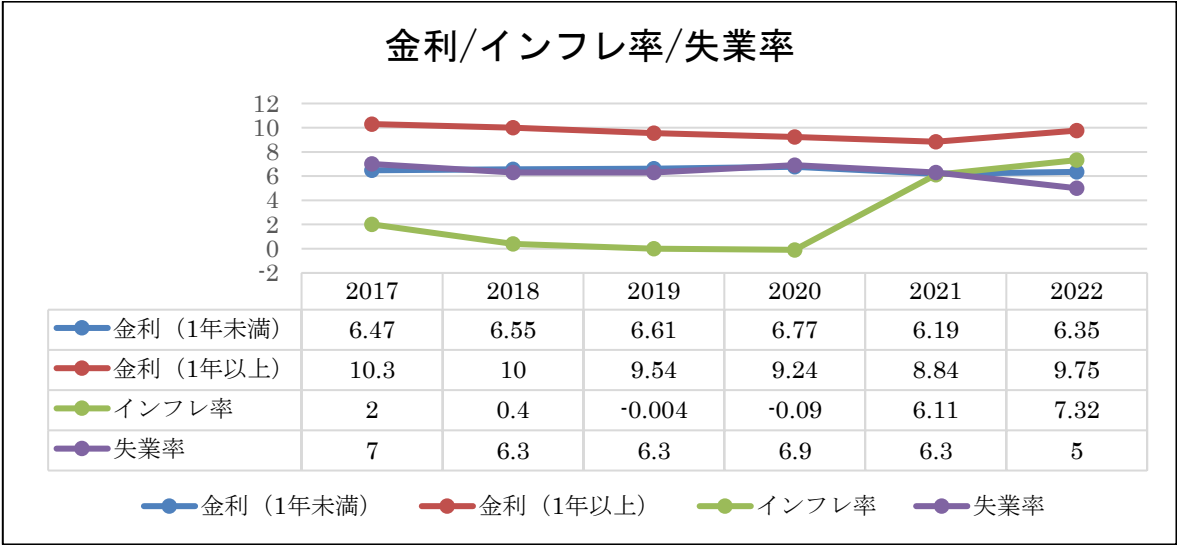
(エルサルバドル中銀データをもとに作成)



(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

8. 金利・インフレ率

・ 2022 年のインフレ率はプラス 7.32%であった。また 2021 年のインフレ率はプラス 6.11%であった。2022 年の失業率は 5.0%であった。



（エルサルバドル中銀データをもとに作成）